

死亡事故多発中

10月19日(金)に、根下戸新町の市道で歩行者がトラックにはねられ、41歳の男性が死亡。10月27日(土)には、樹海ラインでワゴン車と軽乗用車が正面衝突し、53歳の女性が死亡。10月31日(水)には、比内町扇田で84歳の女性が道路横断中に軽トラックにはねられ、亡くなっています。

ドライバーの皆さんは、早めのライト点灯、歩行者は反射材を張って、事故を起こさない、遭わないよう、十分に注意しましょう。

事故を起こさない、事故に遭わないためのポイント

- ・ 4時からライト、しっかりベルト車に乗ったら、まずシートベルト。ヘッドライトは、早めに点灯しましょう。
- ・ 見える歩行者、自転車になろう夕暮れ時や夜間の外出は、懐中電灯を持つ、反射材を張る、ライトをつけるなどドライバーから見えるようにしましょう。
- ・ 冬期間の自転車は危険です冬期間の路面は非常に滑ります。転倒する恐れがあるので、冬期間は乗らないようにしましょう

市では反射材を差し上げていますので、ご利用ください。

問 生活環境課 ☎49 - 3111(内線347)



つどいの広場ひよこには、専門のスタッフを2人配置しています。子育てに関する情報を発信し、育児相談や情報交換を行い、お子さんとの遊びや子育てのお手伝いをします。みんなで遊べるおもちゃや折り紙を準備しているほか、遊戯室では、かけっこもできます。費用は無料で、事前の予約や登録は必要ありません。

遊戯室の利用

卓球や8人制バレーボールなどの軽スポーツに利用ができます。

利用時間 18時～21時(火・土)

8時30分～21時(日、祝日)

申間(13時～21時)

有浦児童会館 ☎49 4420

ん。開設時間内に気軽ににお越しください。また、電話での子育て相談も受け付けています。

開設時間 9時から14時(月～金)

有浦小学校が冬休みや夏休みなどで長期休業する際には、場所が変更になりますので、お問い合わせください。

つどいの広場ひよこ ☎49 3370

比内地鶏ブランドを守ります

市内の業者が、長期間にわたって特産の比内地鶏と偽って加工品を製造、製造時期も改ざんしていたことが明らかになりました。

現在、比内地鶏の生産は、秋田県全体の約5割(72万6千羽のうち36万2千羽)を本市が占め、さらなる飛躍を期して、生産拡大に取り組んできました。また、5月には、あきた北農協など6J Aが「比内地鶏」の地域商標登録の認定を受け、秋田わか杉国体では全国の選手、関係者の皆さんにキリタンゴや比内地鶏加工品を提供し、大好評を博したばかりです。この事件により、これまで築き上げた「比内地鶏」の信頼が大きく傷付き、全国の消費者を裏切ったことは非常に残念です。

市では、「比内地鶏」への消費者の信頼回復と生産現場への影響を早期に解消するため、10月23日に、「比内地鶏ブランドを守る緊急対策本部(本部長小畑市長)」を設置し、県、J A、生産者、種鶏業者、加工、販売業者などが一丸となって、ブランドを守るための検討を進めていくことにしました。

今後は、県の対策本部と連携を取り、一日も早い信頼回復を目指して努力します。

「緊急対策本部会議」で協議されたこと

- 1 地域ブランドの産地(地域商標登録品)表示の実施に向けた話し合いを進めます。
- 2 J Aあきた北比内地鶏生産部会では、独自のマニュアルに基づき、生産管理台帳や管理日誌を整備し、産地証明シールを張り付けています。これらをほかの生産者へも拡大できないか協議します。
- 3 秋田県全体での産地証明書の発行を、県へ働きかけます。
- 4 市場での立ち入り調査(DNA鑑定など)は、県と連携を図って、実施するよう検討します。
- 5 比内地鶏キャンペーンの実施を検討します。(11月3・4日に開催された渋谷区民祭で、キャンペーンを実施しました)
- 6 二度とこのようなことが起こらないように、再発防止策を検討します。
- 7 比内地鶏の本場として、消費者の皆さんにご迷惑をお掛けしないよう、調整機能や生産体制の強化を検討します。

問 農林課 ☎49 - 3111(内線294)